

令和8年度 浦幌町アイヌ政策推進交付金事業計画

| | |
|---------|--|
| 1 事業名 | 浦幌町アイヌ施策推進事業 |
| 2 事業の種類 | <p>文化振興事業</p> <p>地域・産業振興事業</p> <p>コミュニティ活動支援事業</p> |
| 3 事業の目的 | <p>アイヌ施策推進法が掲げる「先住民族アイヌの人々が民族としての誇りを持って生活することができ、及びその誇りが尊重される社会を実現し、もって全ての国民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会」の目標を浦幌町において達成するために、段階的に環境の整備や教育の推進を行うものである。</p> |
| 4 事業の概要 | <p>(1)文化振興事業</p> <p>■アイヌ史・アイヌ文化伝承活動支援事業 (「浦幌町アイヌ史・文化基本施策(仮称)」策定検討事業)</p> <p>○事業実施主体 浦幌町</p> <p>○事業の実施場所 浦幌町立博物館、浦幌町役場、厚内公民館など</p> <p>○事業の実施期間 交付決定の日～令和9年3月</p> <p>○事業の内容と考え方 アイヌ施策振興法にもとづき、先住民族アイヌの人々が誇りを持って生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現をはかるために、浦幌町で必要な施策とは何かを検討し、町のアイヌ施策を効果的に推進するための「浦幌町アイヌ史・アイヌ文化基本施策(仮称)」を策定するため有識者による会議を行う。</p> <p>■アイヌ史・アイヌ文化伝承活動支援事業 (アイヌ文化の民具等の修復・保存事業)</p> <p>○事業実施主体 浦幌町</p> <p>○事業の実施場所 浦幌町立博物館、委託事業者(宮城県仙台市)</p> <p>○事業の実施期間 交付決定の日～令和9年3月</p> <p>○事業の内容と考え方 博物館やラポロアイヌネイションで保管する地域において継承されている伝統的な民具、遺骨返還に伴い大学から返還された副葬品などについて、次世代へ継承するため、修復を含めた保存環境の整備を図るものである。 また、修復された民具や副葬品などは、展示公開や各種事業での活用を図る予定である。</p> <p>■アイヌ史・アイヌ文化普及啓発事業 (アイヌ史・歴史の普及啓発講座)</p> <p>○事業実施主体 浦幌町</p> <p>○事業の実施場所 浦幌町立博物館・中央公民館・厚内公民館</p> <p>○事業の実施期間 交付決定の日～令和9年3月</p> <p>○事業の内容と考え方 浦幌や十勝のアイヌの歴史や文化の普及啓発のため、博物館講座等を始めと</p> |

| | |
|----------------------------|---|
| | <p>した社会教育事業を通じ、子どもたちを含む地域の人々へのアイヌ史・アイヌ文化教育を推進すると共に、学校教育との連携について検討する。あわせて、アイヌの歴史と文化に関して理解し、行政職員として施策を担える人材を育成するための役場職員の研修や生活相談員研修の機会をつくる。</p> <p>(2)地域・産業振興事業 ■アイヌ史・アイヌ文化情報発信事業 (「アイヌ文化音楽祭」開催事業) ○事業実施主体 浦幌町 ○事業の実施場所 十勝太高台 特設会場 ○事業の実施期間 交付決定の日～令和9年3月 ○事業の内容と考え方 道内在住のアイヌの若手が中心となり、伝統的なアイヌ舞踊や神謡のほか、新たな芸術文化としての現代アイヌ音楽を披露し、伝統的なアイヌ文化とともに新たなアイヌ文化の可能性を示すための音楽イベントを開催する。</p> |
| <p>5 アイヌ施策推進地域計画における記載</p> | <p>4-1 アイヌ文化の保存又は継承に関する事業 ■アイヌ史・アイヌ文化伝承活動支援事業 ・かつて浦幌など十勝川下流域一帯に居住していたアイヌのコタンの分布、生活実態、文化・風習等についての調査及び資料の収集調査を実施し、今後実施する文化伝承活動や町のアイヌ施策への活用をはかる。 ・町のアイヌ施策を効果的に推進するための有識者会議を実施し、有識者からの助言を事業実施や今後の町のアイヌ施策に資する。 ・博物館やラポロアイヌネイションなど地域において継承されている伝統的な民具や遺骨返還に伴い大学から返還された副葬品などを次世代へ継承するため、修復を含めた適切な保存環境の整備を行うとともに、展示公開や各種事業での活用をはかる。 ■アイヌ史・アイヌ文化学習推進事業 ・地域のアイヌ文化の担い手であるアイヌ民族自身が、自らの歴史や文化を正しく理解し次世代へ継承できるようになるため、アイヌ文化の伝承活動に必要な環境整備やアイヌ民族向けの研修事業等を行う。これらには、役場職員等希望する者も適宜参加できるようにする。…地域計画目標②</p> <p>4-2 アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業 ■アイヌ史・アイヌ文化普及啓発事業 ・浦幌や十勝のアイヌの歴史や文化の普及啓発のため、博物館講座をはじめとした社会教育事業を通じ、子どもたちを含む地域の人々へのアイヌ史・アイヌ文化教育を推進すると共に、学校教育との連携について検討する。あわせて、アイヌの歴史と文化に関して理解し、行政職員として施策を担える人材を育成するための役場職員の研修や生活相談員研修の機会をつくる。 ・全国から積極的に大学生や研究者などを誘致するための研究助成金制度創設の検討も含めて、先住民族と社会に関する現代的課題を学び、研究できるフィールドとして地域を位置付け、博物館や図書館を拠点に研究発表会を開催するなどして成果を地域へ還元するとともに、研究成果の蓄積と共有をはかる。…地域計画目標④</p> <p>4-3 観光の振興その他の産業の振興に資する事業 ■アイヌ史・アイヌ文化情報発信事業 ・アイヌ文化の情報発信のため、町立博物館において、アイヌ文化に関する展示を常設するとともに、随時企画展や関連講座を開催し、さまざまな機関と連携して、浦幌のアイヌ文化を国内外へ発信する。 ・伝統的なアイヌ文化の発信とともに、新たな芸術文化活動のテーマとして発信す</p> |

| | |
|--|---------------------------------|
| | る若者たちと連携して、音楽イベントを開催する。…地域計画目標③ |
|--|---------------------------------|

| | |
|---|--|
| 6 事業の成果目標等 | |
| (1) 成果目標の達成に向けた工程 | <p>(1)文化振興事業</p> <p>■アイヌ史・アイヌ文化伝承活動支援事業 浦幌や十勝のアイヌ施策を効果的に推進するための「浦幌町アイヌ施策推進基本計画」を策定することにより、伝統的なアイヌ文化を次世代へ確実に継承し、アイヌの人々が誇りを持って生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現を図ることができると考えられる。 ・地域において承継されている伝統的な民具などを修復・保存することにより、伝統的なアイヌ文化を次世代へ確実に継承し、アイヌの人々が誇りを持って生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現を図ることができると考えられる。</p> <p>■アイヌ史・アイヌ文化普及啓発事業 浦幌や十勝のアイヌの歴史や文化に関連する博物館講座をはじめとした社会教育事業、学校と連携した子どもたちへの教育活動、アイヌの歴史と文化に関する授業が担える人材を育成するための教員研修や生活相談員研修を行うことにより、アイヌ史やアイヌ文化の普及啓発を図ることができると考えられる。</p> <p>(2)地域・産業振興事業 道内在住のアイヌの若手が中心となり、伝統的なアイヌ舞踊や神謡のほか、新たな芸術文化としての現代アイヌ音楽を披露し、伝統的なアイヌ文化とともに新たなアイヌ文化の可能性を示すための音楽イベントを開催することにより、地域社会におけるアイヌ文化の理解や振興が広がることが想定される。</p> |
| (2) 成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること) | <p>(1)文化振興事業</p> <p>■アイヌ史・アイヌ文化伝承活動支援事業 修復資料点数(延べ数) (現状値)令和7年度 20点 (中間目標)令和10年度 46点 (最終目標)令和12年度 70点 成果目標は、令和12年度に達成見込みである。</p> <p>博物館への来館者数 (現状値)令和7年度 5000人/年間 (中間目標)令和10年度 6,500人/年間 (最終目標)令和12年度 8,000人/年間 成果目標は、令和12年度に達成見込みである。</p> <p>■アイヌ文化普及啓発事業 博物館講座参加者数 (現状値)令和7年度 200人/年間 (中間目標)令和10年度 300人/年間 (最終目標)令和12年度 500人/年間 成果目標は、令和12年度に達成見込みである。</p> <p>(2)地域・産業振興事業 音楽イベント来場者数 (現状値)令和7年度 100人/年間 (中間目標)令和10年度 120人/年間 (最終目標)令和12年度 140人/年間 成果目標は、令和12年度に達成見込みである。</p> |
| | 実績値を公表する。 |

| | |
|---------------------------------|--|
| (3) 成果目標の 確認方法 | アイヌ施策推進検討会により、目標の達成状況等について検証を行い、改善点を踏まえて計画期間内の事業実施等に反映する。 |
| 7 地域 の 概 要 | |
| (1) 地域における アイヌ文化等の 現状及び課題 | <p>(1) 地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題</p> <p>① 浦幌地域のアイヌ民族に関する記録 浦幌町は十勝川の下流に位置し、1955(昭和 30)年の旧大津村の再編によって町域へ編入された直別、厚内、十勝太などの太平洋沿岸域を中心に、アイヌ民族の居住がみられた。世界史的には 1643(寛永 20)年、天候悪化で僚船からはぐれて十勝沖で漂泊したオランダ船カストリックム号が、少年 1 人をつれたアイヌの男性 2 名と遭遇している記録が、船長だったフリースによる『日本北東航海旅行記』に記述されている。考古学的には、川沿いの見晴らしの良い高台を中心にチャシ跡がいくつも残されており、擦文時代の遺跡と合わせ、一帯が先史時代から中近世にかけて、先住民族の居住地域であったことを示している。</p> <p>② 浦幌地域のアイヌ民族の近現代史と現状 明治時代に入り、開拓使が川でのサケ漁を禁じたことを契機として、それまでの伝統的な生活からの転換を余儀なくされたアイヌ民族は、農畜産業や水産業などに従事しながら今日まで細々とその伝統を受け継いできた。愛牛地区で十勝川の旅来渡船の渡船守を務めていたアイヌ民族の長濱清蔵氏に関する民具資料数点は現在浦幌町立博物館に収蔵されており、近年、研究者によりその語りが活字化もされている。現在では、漁港の整備された厚内地区で水産業を営む人々を中心に、ラポロアイヌネイション(旧浦幌アイヌ協会)が組織され、伝統的な工芸技術の習得、イチャルパやアシリチェブノミなどの祭祀の実施など、アイヌ文化の継承に努めている。</p> <p>③ 研究者による遺骨返還運動とその記憶の継承 1934(昭和 9)年には、旧北海道帝国大学の研究者により、人類学研究の材料として、十勝川沿いの愛牛地区にあった墓地から 80 点近い遺骨が持ち出され、永く大学に保管されてきた。東京大学、札幌医科大学にも研究用のアイヌ遺骨が保管されていたが、これらの遺骨に対する返還運動が、元浦幌町議会議員で旧浦幌アイヌ協会会長であった差間正樹氏を中心に取組みられ、2017 年以降、遺骨の返還と町営墓地の再埋葬を実現した。また、このとき、日本の博物館として初めて、埋蔵文化財の発掘調査によって得られた 1 体の遺骨の返還と再埋葬も実施されている。さらに、大学から返還された遺骨の副葬品は一括して浦幌町立博物館へ寄贈され、常設展示室での保存公開を実施している。</p> <p>④ 浦幌のアイヌ民族の歴史と文化に関する現代の取り組み 浦幌町十勝太出身の上西晴治は、大学による遺骨持ち去りをはじめ、近現代のアイヌ民族が受けて来た差別や苦しみをテーマに多くの文学作品を発表し、伊藤整文学賞や北海道新聞文学賞などを受賞している、北海道を代表するアイヌ文学者である。浦幌町立図書館では、上西のコーナーを作って地元ゆかりの作家として周知をおこなっているほか、生誕 100 年を迎えた現在、上西文学に関する企画展の開催が浦幌町立博物館で計画されている。 ラポロアイヌネイションは、先住民族の権利獲得のために先頭になって復権運動に取り汲んでおり、2024(令和 6)年には「先住権としての川でサケを獲る権利」をテーマとした国際シンポジウムを町内で開催した。こうした取り組みは、先住民族の抱える現代的課題に関心を持つ研究者や学生の関心と呼び、近年では卒業論文や修士論文のテーマとして扱われるケースもみられるようになった。さまざまな学生が調査研究のために町を訪れており、浦幌はアイヌ民族に対する社会学的、文化人類学研究のフィールドとして確立しつつある。 今日の浦幌町は、従来の伝統的なアイヌ文化の継承とともに、現代アートと融合した形での文化発信に関心を寄せる若者たちの活躍の場ともなっている。2024(令和 6)年より、毎年 8 月末には十勝太地区において、若手アイヌ音楽グループ「nincup(ニンチュブ)」のメンバーと地元の若者によって組織される実行委員会により音楽祭が開催されている。</p> <p>⑤ 総括と課題 返還後に博物館へ寄贈された副葬品の公開にあたっては、毎年春のラポロアイヌネイション総会において、教育委員会とラポロアイヌネイションとの間で協議をおこ</p> |

| | |
|-----------------------|--|
| | <p>ない、ラポロアイヌネイション会長と浦幌町教育委員会教育長との間で合意書を取り交わして、合意書とともに展示する方法をとっている。地域のアイヌ団体と教育行政が連携して、歴史や伝統の継承に努めている事例である。町の再生エネルギーの導入にあたってのゾーニングでは、環境団体のほか、地域のアイヌ関係者の意向を反映するために、ラポロアイヌネイションからも代表が出席して意見を聞くなどしている。アイヌ施策振興地域計画の策定に向けて、町長を交え、ラポロアイヌネイションと行政の担当課が一堂に会して、率直な意見交換や合同視察が取り組まれた。このように、アイヌ遺骨返還運動をきっかけとして、浦幌町では、行政とアイヌ団体との間で徐々に対話や連携がはかれるようになった。</p> <p>だが、そのいっぽうで、地域住民のアイヌ史やアイヌ文化理解についてはまだ広く浸透しているとは言えない。『浦幌町史』におけるアイヌ民族に関する言及の少なさや町内に残る「開基」表現の見直しなどは進んでおらず、町政におけるアイヌ施策についても、福祉分野における生活館の設置運営や生活相談員の配置などにとどまり、アイヌ施策振興のための具体的な施策について、行政として横断的な検討が為されていない。</p> <p>教育においても、地域のアイヌ史やアイヌ文化への理解を深めるための社会教育や、学校教育との連携などはほとんど実施されていない。</p> <p>アイヌ民族を中心とする先住民族に関する社会的な関心の対象として、浦幌町は全国的に知られるようになってきている反面、地域住民の人々に、地域のアイヌ民族の存在や文化について理解を深めてもらうための取り組みは近年になってようやく始まってきたのが現状である。</p> <p>※アイヌ関連団体 ・ラポロアイヌネイション(設立:昭和45年4月、代表者:丹野のみか、会員数:12人)</p> <p>※アイヌ文化等関連施設 ・浦幌町浜厚内生活館 所在:十勝郡浦幌町字チブネオコッペ 現況:昭和57年11月建設。イチャルパをはじめとしたアイヌ文化の伝承活動の拠点となっている。</p> <p>・浦幌町立博物館 所在:十勝郡浦幌町字桜町16-1 現況:平成11年12月開館(昭和44年開館の浦幌町郷土博物館を継承)。白糠丘陵一帯の歴史と自然と文化に関する資料を展示するなかで、アイヌ文化の民具、チャン跡からの出土品、遺骨変化を受けた際の副葬品やイチャルパのようすなどを展示している。</p> |
| (2)施設等の管理運営体制 | 浦幌町浜厚内生活館は浦幌町が管理している。 |
| (3)アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制 | ラポロアイヌネイションとの意見交換や協議により事業内容を確定させ、実施する。 |

8 収支予算

(1) 収入の部

(単位:円)

| 区分 | 本年度予算額 (本年度精算額) | 前年度予算額 (本年度予算額) | 比較増減 | |
|--------------|--------------------|--------------------|-----------|---|
| | | | 増 | 減 |
| 国庫補助金 | 1,568,000 | 0 | 1,568,000 | 0 |
| 市町村負担額 | 392,000 | 0 | 392,000 | 0 |
| その他(補助対象外経費) | 800,000 | 0 | 800,000 | 0 |
| 計 | 2,760,000 | 0 | 2,760,000 | 0 |

(2) 支出の部

(単位:円)

| 経費区分 | 本年度予算額 (本年度精算額) | 前年度予算額 (本年度予算額) | 比較増減 | |
|--------------|--------------------|--------------------|-----------|---|
| | | | 増 | 減 |
| 文化振興事業 | 960,000 | 0 | 960,000 | 0 |
| 報償費 | 300,000 | 0 | 300,000 | 0 |
| 旅費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 需用費 | 165,000 | 0 | 165,000 | 0 |
| 役務費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 委託料 | 495,000 | 0 | 495,000 | 0 |
| 地域・産業振興事業 | 1,800,000 | 0 | 1,800,000 | 0 |
| 報償費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 旅費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 需用費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 役務費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 委託料 | 1,800,000 | 0 | 1,800,000 | 0 |
| コミュニティ活動支援事業 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 報償費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 旅費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 需用費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 役務費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 委託料 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 2,760,000 | 0 | 2,760,000 | 0 |
| 報償費 | 300,000 | 0 | 300,000 | 0 |
| 旅費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 需用費 | 165,000 | 0 | 165,000 | 0 |
| 役務費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 委託料 | 2,295,000 | 0 | 2,295,000 | 0 |